

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	民家小委員会	主 査 名：山田由香里 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：大橋 竜太 主 査 名：
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	民家研究の継承と発展、全国の研究成果の収集・整理、研究成果の公表（民家・集落の現場と研究者の連携等） 初年度：日本建築学会大会 PD 開催：歴史を活かしたまちづくり 2 年度：次年度の日本建築学会大会 PD の企画 3 年度：日本建築学会大会 PD 開催：民家研究の新視点 民家・集落の保存と活用（徳島・祖谷山、足助・名古屋） 4 年度：民家・集落の保存と活用	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：有	
	主査：山田由香里（長崎総合科学大学） 幹事：安高尚毅（小山工業高等専門学校） 委員：三浦要一（高知県立大学）、大場修（立命館大学）、溝口正人（名古屋市立大学）、平山育男（長岡造形大学）、土本俊和（信州大学）、大野敏（横浜国立大学）、中村琢巳（東北工業大学）、長田城治（郡山女子大学）、渡邊美樹（足利大学）、御船達雄（和歌山県）、黒坂貴裕（八戸工業大学）、西山和宏（文化庁）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD「民家研究の新視点」 参加者数 127 名 『建築歴史・意匠部門パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 十分に達成した（大会 PD の開催、最新情報の共有）。 2. 委員構成のバランスを取るため、女性委員を公募。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 民家をとりまく現代的課題（修繕、災害、空き家、調査技術の伝承など）のハードルが、年々高くなっている。新たな手法や視点での解決が求められる。